

2023年度
事業計画書

2023年4月 1日から
2024年3月31日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。

本学会の発展と向上のためには、多岐にわたる情報収集と的確な状況把握が不可欠であり、「日本麻酔科学会中期・長期計画」を2008年度に策定、数年に一度改定した。それに基づき単年度の事業計画を作成している。

(基本方針)

以上の状況を踏まえ、本年度は次の4点を軸に事業計画を策定した。

- (1) 公益法人として従来の取り組みを検証しつつ、事業の明確化を図る。
- (2) 学会理念、中期・長期計画に基づき、より効果的な計画を立案する。
- (3) 定款及び内部規程に沿った業務運営を徹底させ、組織の強化を図る。
- (4) システムを構築し、基本情報の整備を行う。

1. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行う。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

(1) 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

(2) 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

(3) 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

(4) 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などの他職種医療従事者と真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

(5) 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

2. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

(1) 公益目的事業

公1 麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業（学術事業・交流事業）

公2 麻酔科関連業務に関わる医師及びその他の医療従事者が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社会に安全で良質な医療を提供するための事業（教育事業・安全事業）

公3 一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業（公益事業）

(2) 収益事業等

収1 医師賠償責任保険、所得補償保険の加入仲介事業

収2 展示出展事業

(3) その他（管理運営部門）

3. 事業計画

(1) 公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公1、公2、公3にある事業を組織運営上、委員会に割り振り運営を行う。

公1は、学術事業、交流事業であり担当委員会は、以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公2は、教育事業、安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・安全委員会

公3は、公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・広報委員会
- ・麻酔博物館事業検討委員会

(2) 収益事業

収1は、医師賠償責任保険、所得補償保険の加入仲介事業を実施する。

収2は、学術集会開催時に附設展示会を実施する。

(3) 管理部門

管理運営部門として以下の組織を置き、運営を行う。

- ・総務委員会
- ・財務委員会

- ・倫理委員会
- ・事務局

各委員会の委員長は理事とし、統括として常務理事において運営を行う。以下に各委員会の事業計画の概要を記す。

(1) 公益目的事業

<公1：学術・交流事業>

1) 学術委員会（委員長・担当常務理事：川股理事）

- ・学術集会運営

2023 年度は事業の検証を行いつつ、改善すべき点は改善を検討する。6 月に年次学術集会を現地と WEB、9 月に支部学術集会を現地にて開催する。また、セッション毎の参加者状況を把握・分析し、今後の企画に反映させる。さらに、年次学術集会を長期的な視野で捉え、開催場所、時期、テーマの大枠の検討を開始する。日本専門医機構認定講習会の運営変更の検証をする。一般演題投稿減少対策及び募集要項、査読基準の見直しを行う。

① 第 70 回学術集会

日 程：2023 年 6 月 1 日（木）～6 月 3 日（土）

場 所：神戸ポートピアホテル，神戸国際展示場

WEB 配信期間：2023 年 6 月 1 日（木）～7 月 3 日（月）

会 長：藤野 裕士

テーマ：「麻酔科学と麻酔科医の可能性を再考する (Reconsidering the possibilities for anesthesiology and anesthesiologists)」

② 支部の学術集会（各支部にて現地開催）

日程：2023 年 9 月 2 日（土），9 月 9 日（土）

会 長：

黒澤 伸（北海道・東北支部第 13 回学術集会）

小山 薫（関東甲信越・東京支部第 63 回合同学術集会）

中島 芳樹（東海・北陸支部第 21 回学術集会）

佐和 貞治（第 69 回関西支部学術集会）

田中 克哉（中国・四国支部第 60 回学術集会）

秋吉浩三郎（九州麻酔科学会第 61 回大会）

- ・機関誌・準機関誌等の発行・頒布，査読編集

国内外の研究業績については、2 か月ごとに機関誌「Journal of Anesthesia」を発刊し、会員、官公庁、研究者、国内外の関連する学術団体等に頒布する。会員宛には閲覧可能な HP を案内する。さらに、電子査読編集を行い、インパクトファクター（引用度）向上のための具体策を検討する。臨床研究を活発にする目的で創刊した JA Clinical Reports については、投稿論文数の向上のための普及活動を継続する。準学会誌「麻酔」は月刊で 12 号を発行する予定であり、学術集会のプログラムは客観的で公正な査読を行ったうえで、無料で会員に配布する。抄録については、会員専用ホームページ掲載し、会員以外には抄録閲覧可能なパスワード付プログラムを販売し、学術集会プログラム及び抄録の閲覧が可能な携帯情報端末用アプリを構築する。

- ・麻酔用語集の改訂

改訂内容検討を行い、2023 年度中に出版する。

- ・学術研究の奨励、支援

① 学術研究の奨励

麻酔科学領域における適切な臨床研究を支援・推進するため、日本麻酔科医会連合と共同で新しい研究推進事業を検討する。過去を行った研究に関して定期的に進捗を報告し、終了後は研究成果を電子的に公開する。

② 学術論文雑誌、医療関連雑誌、映像等の収集・集約化（学術関連資料アーカイブ事業）

国内外の麻酔科関連分野の学術論文、医療関連の雑誌・映像等を麻酔博物館に収集・集約し、医学・医療について正しく理解できる場を、会員はもとより一般市民やマスメディアに提供する。また、運営は見直しされ日本専門医機構認定講習会の映像を録画し、教育資料として保存するとともに、e-learning として配信する。

③ 研究業績等の表彰（研究表彰事業）

学会賞 5 賞（山村記念賞・青洲賞・若手奨励賞・松木賞・社会賞）の選考を行い、顕彰する。

- ・International Conference on Anesthesia Patient Safety（以下、ICAPS）2024 の開催について

理事会下に設置された ICAPS 2024 の実行委員会で、各種検討を 2022 年度から継続した形で行う。開催実施においては日本麻酔科医会連合に業務委託を行うことで対応する。ICAPS の日本語名は「安全な麻酔のための国際会議」であり、主な参加対象者は、「安全な麻酔管理体制についての大綱」をまとめることとするため、医療従事者である。

2) 国際交流委員会（委員長：長坂理事 担当常務理事：萬理事）

国外団体との協力の面から、諸外国の麻酔科関連国際団体との交流促進するため、WFSA（世界麻酔科学会連合）が世界各地に対して行う活動への協力体制の確立、東アジアの学術基盤を形成する。各国の学術集会以での講演をはじめとした人的交流と知識交流についてより一層の活性化を目指す。国民へ安全な麻酔を提供するための国際水準の知識交流を図る。

3) 関連領域検討委員会（委員長：岡本理事 担当常務理事：田中理事）

「他領域と協働する医療」に関連する交流事業として、集中治療、救急医療、疼痛治療、緩和医療、心臓血管麻酔、産科麻酔、小児麻酔などの麻酔科関連領域団体・構成員と協議・連携し、麻酔科医が幅広い分野においてその能力を発揮して活躍するための基盤構築にかかる活動を行う。サブスペシヤルティ領域学会の専門医制度に関し、教育委員会と合同で日本専門医機構認定取得に向けた検討・調整を行う。当学会と関連する領域の学会・団体と、専門医制度のみならず医療政策や医療経済など医療を取り巻く諸問題の解決に向けて、組織同士で協議を行える枠組みを作るための制度を立案する。麻酔科医の心肺蘇生・二次救命処置に関する知識とスキルの修得・維持・向上を目的として、支部単位で管轄地域所在の ECC トレーニングサイトに委託して BLS 講習会、ACLS 講習会を開催し、あわせて講習会のあり方について、より合理的かつ効果的な方策を検討する。

<公2：教育・安全事業>

1) 教育委員会（委員長・担当常務理事：田中理事）

- ・教育プログラム等の策定

麻酔科医の生涯教育としての段階的目標を掲げ、その達成のための再教育プログラムの提供を行い、それによって均質な医療水準の維持と普及を図る。

- ・麻酔科関連業務に関わる医師，医療従事者，施設の審査・認定

麻酔科医は、周術期管理，救急，集中治療，ペインクリニック，緩和医療，総合診療などを主たる活動領域とし、医学・医療全般に深く関わっている。これらの分野での経験年数，研究実績，医療従事者や一般市民への指導・教育実績等の段階的到達目標を設定し、到達度にあわせて、麻酔科認定医，麻酔科専門医，麻酔科指導医という資格を認定している。また、安全で質の高い麻酔科関連医療を格差なく社会に提供するため、施設の認定も引き続き行い、専門医研修体制である麻酔科研修プログラムの認定も引き続き行う。また、研修プログラムの質の評価方法について、具体的な方法を検討する。

所定の内規に則り下記資格ならびに施設の認定を実施する。

- ①認定医等の新規認定，資格審査の実施

4月・8月・12月の計3回認定審査を実施する。

- ②新規専門医

第60回麻酔科専門医認定試験を10月・11月に実施する。

- ③新規指導医

麻酔科指導医新規認定の審査会を2月に実施する。

- ④新規認定病院

4月・8月・12月の計3回認定審査を実施する。

- ⑤認定医等の資格更新審査

資格更新対象者の認定審査を実施する。

- ⑥認定病院更新

麻酔科認定病院更新対象施設の認定審査を実施する。

- ⑦麻酔科専門医研修プログラム

日本専門医機構（以下、機構）認定の麻酔科専門医研修プログラムの審査を実施する。

- ・生涯教育・研修

質の高い麻酔科医の育成のため、周術期管理，救急・集中医療，ペインクリニック，緩和医療等，危機管理，最新のトピックスについての新しい知識の定着を目的とした教育講座を開催している。

過去に開催実績があり，受講者は1回につき1,000名を超えている。従来は麻酔科専門医試験受験者を対象とした内容であったが，2011年度からは麻酔科専門医取得済みの麻酔科医も対象とし，開催コース数を拡大するとともに麻酔科関連のガイドライン解説のコースを新設した。

- ・機構認定専門医制度への対応

2019 年度より現在の麻酔科専門医を対象にした機構認定専門医制度への更新申請受付が開始となった。

機構認定専門研修プログラムについて機構の新整備基準に沿ってプログラムでの専攻医の定員数への対策について検討を行なう。また、専門医研修プログラムの一次審査を実施し、機構へ審査結果を提出する。

機構認定専門医更新基準については、認定基準に応じた運用検討を行い、本学会会員に周知を行う。また、機構の新整備基準と学会認定資格との連携についても検討する。

また、他の麻酔関連学会での麻酔科領域講習、専門医共通講習の月次の申請受付、講習会認定審査および講習会を実施する。

- ・学会認定麻酔科専門医制度への対応

機構に認定制度が移管することから、今後の移行スケジュールおよび、新たに決定した現行制度での決定事項を会員へ周知する。

- ・教育普及

麻酔科関連医療が十分普及していない諸外国において、教育講座等の開催、また周術期（手術前・中・後）の麻酔科業務について協働する医療従事者の教育を行い、その成果を当該国の社会に還元している。また、蘇生教育として心肺蘇生法を個人・団体に提供できるよう医師、医療従事者の教育と指導者の養成を行う。関西支部においては主として若手医師を対象とした症例検討会を年 3 回開催する。

2) 周術期管理チーム委員会（委員長：松本理事 担当常務理事：内野理事）

- ・周術期管理チーム認定資格新規・更新審査

麻酔科医と共に手術室業務に従事する多職種（主に看護師、薬剤師、臨床工学技士）の非会員に対し、所定の教育効果を測る目的で周術期管理チーム認定を行う。新規認定および更新認定申請の受付、新規認定においては審査の上、筆記試験を実施する。

- ・周術期管理チーム教材作成

看護師、薬剤師、臨床工学技士を対象としたセミナーを年次学術集会、支部学術集会（6 支部）と併催する形で開催し、e-learning コンテンツとして配信する。周術期管理チームテキストの発行、販売を行い、教科書内容について検証する。

- ・術後疼痛管理研修

令和4年度診療報酬改定で認められた術後疼痛管理チーム加算に対応した研修を、麻酔科医と共に術後疼痛管理に係る看護師、薬剤師、臨床工学技士向けにe-learningコンテンツとして配信し研修修了者を輩出する。

3) 安全委員会 (委員長：小澤理事 担当常務理事：内野理事)

- ・ガイドライン作成関連
作成中の各ガイドラインの作成・改訂を引き続き進める。
- ・偶発症例（肺塞栓）専門部会
医療機器メーカー、関連製薬会社、もしくは会員から寄せられた副作用情報を含めたインシデント報告内容の精査し、ホームページなどで発信を行い、周知を図る。その実現に向けて、事務局下に設置された JSAPIMS WG との連携も合わせて行う。
- ・医薬品適正評価対策専門部会、麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会 関連
 - ①医療事故において集積した案件を解析し、その結果を会員用ホームページなどで公表するとともに、麻酔手技および麻酔関連機器部門や薬剤部門、リスクマネジメント部門などに具体的な安全事業の参考資料として安全性改善に役立てる。
 - ②日本医療安全調査機構などからの事故調査の依頼に対し、学会として委員派遣を行う。
- ・CCP 専門部会 関連
 - ①CCP-WG としての麻酔科学会会員関連の医事紛争終了事案調査等を継続して行う。
 - ②団体医師賠償責任保険制度の内容について検討を行う。
- ・ICD 制度協議会運営 WG 関連
 - ①ICD 制度協議会と連携し、年次学術集会で開催する ICD 講習会企画内容の検討を行う
 - ②その他、ICD 認定申請窓口業務を行う。
- ・APSF ニュースレター日本語版作成 WG 関連
 - ①米国の Anesthesia Patient Safety Foundation (APSF) の日本語版ニュースレター発行を継続して行う。
 - ②本学会での調査情報を APSF と連携し、交流を行う。
- ・麻酔関連業務における特定行為研修修了看護師の安全管理指針
2022 年度から継続して指針の作成、作成完了した後は指針の周知を行う。
- ・周術期禁煙推進 WG 関連で禁煙に関する動画作成やガイドライン作成・改訂等を検討する。
- ・産科麻酔・無痛分娩に関する検討 WG
 - ①無痛分娩関連学会・団体協議会（JALA）での講習会の改訂を行う。
 - ②日本母体救命システム普及協議会におけるシナリオの作成を行う。
 - ③日本産科麻酔学会と日本周産期麻酔科学会における教科書作成、試験、認定制度の調整を継続して行う。

<公3：公益事業>

1) 広報委員会 (委員長：内田理事 担当常務理事：萬理事)

本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を立て、一般社会、各種マスコミ、会員、臨床研修医、医学生、及び関係各省庁に向けた活動・検討を行う。

- ・医療全般、医療事故等の相談窓口
一般市民からの麻酔科関連医療に関する質問を電子メール、文書等で受け付け回答する。
- ・メディア戦略の検討・実施
取材協力、ニュースリリースの配布などを積極的に実施し、マスメディアを通じて広く社会に麻酔科関連医療を正しく理解してもらうための活動を行う。2012 年度に開設した Facebook をはじめ、

2015 年度から開始したメールマガジンを継続配信し、会員へ麻酔科学会動向周知を図る。ホームページについて一般市民、医療従事者等の対象者別に見やすく情報整理し、アップデートする。

・臨床研修医、医学生に向けた活動

医学生、臨床研修医を対象に麻酔科業務の重要性などを広報する。学術集会への無料招待、講演会などを企画する。

・会員・市民への出版物発行と活動

公益社団法人日本麻酔科学会ニューズレターを4号発行する。

関西支部：近畿麻酔科医界第79号（8月）、第80号（2月）を発行

九州支部：年報46号を発行

一般市民向けにわかりやすく麻酔について解説した「麻酔のしおり」について発行する。

また、「麻酔のしおり」の内容を、よりわかりやすく伝えるため、動画化し公開する。

手術・麻酔を受けることへの不安を軽減するため、「よくある術前の問題・合併症」をホームページに公開、解説する。

手術時に受けた麻酔の実体験についてエッセイを募集し、「麻酔の日」に公開する。また、優秀作品として選ばれたエッセイを学会ホームページ上に公開し、作者にはノベルティグッズを贈呈し、広報活動を行う。

2) 麻酔博物館委員会（委員長：上林理事 担当常務理事：内野理事）

麻酔博物館事業として、麻酔博物館の運営を行う。

麻酔学関連の医療について今日の医療が確立されるまでの歴史的資料・医療機器を公開し、併せて最新機器の展示および収蔵を行い、正しい医学知識の普及を図る。麻酔関連の医療が、実際どのように行なわれているかを示す公開情報が少ないため、医療現場を再現・展示することにより、目で見て体感し、わかりやすい形で情報を得られる施設を目指す。

博物館は展示のほかに、和・英ホームページの内容更新、来館者向けの広報物を作成し、各大学の麻酔科学教室の沿革情報を収集する。書籍・文書の整理と製本、寄贈品の受け入れを審議する。企画業務として、第70回学術集会時の特別展示、第72回学術集会時の委員会企画について検討を行う。

また、日本麻酔科学会に貢献した会員を選出し、インタビューを行う。

(2) 収益事業

<収1>

医師賠償責任保険の団体加入契約ならびに所得補償保険について、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、三井住友海上保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社と締結し、その仲介事務事業を行う。

<収2>

第70回学術集会開催、各支部学術集会開催時に、医療機器、医薬品、検査機器、医療情報示説、書籍等を対象として出展を実施し、WEB開催の場合はホームページ上で展示専用バナーを設置して本学会として展示小間、展示機会を提供する。APSF ICAPS 開催時においても展示小間、展示機会を提供する。

(3) その他（管理運営部門）

1) 総務委員会（委員長・担当常務理事：内野理事）

学会理念達成のため、麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略、社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を検討する。学会組織に係わる事項、すなわち組織運営に関する事項、会則検討に関する事項を担当する。

名誉会員推薦審査をはじめとする社内業務、他団体との渉外活動、渉外活動検討部会では渉外活動に関する検討とその根拠データの収集、外郭団体への実務協力（門田班研究、働き方改革におけるC-2水準審査、CST推進委員会等）、会則検討部会では会則の検討、社会保険部会では、令和6年度診療報酬改定の検証や学術集会での総務委員会企画検討、実施を行う。

・特定行為パッケージ研修の提供

高度急性期医療における他職種との協働がスムーズに実践できることを目的として「日本麻酔科学会特定行為パッケージ研修」を提供し、特定行為の実施可能なより自立した看護師を育成する。

本学会が指定研修機関となり、その協力施設（認定病院）を募り、e-learning教材の提供、手順書モデルの提供、実技、演習等の進捗管理の補助を行い、特定行為パッケージ研修修了者の増加と修了者の活躍をサポートする。

2) 財務委員会（委員長・担当常務理事：松本理事）

学会の財務基盤を長期的に安定させるため、適切な事業計画作成を可能とするために、過去の予算案、決算書、財務管理の実績と現状を分析し、将来的予測を見据えて正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために、健全な財務状況を維持するような計画を立案する。

3) 倫理委員会（委員長：山浦理事 担当常務理事：萬理事）

麻酔科関連領域の医学・医療の倫理に関する事項を検討する。また、各委員会で企画・施行されるアンケートおよび研究について倫理的問題の有無を確認する。

4) 事務局（事務局長：萬理事）

・事業運営について

事業運営が策定した業務チェックリストに沿って行われているか確認し、円滑な事業運営のための改善を行う。また、各事業から提出された事業報告書の確認を行い、運営が適正に行われたか否かを確認し、半期に一度事業監査を実施する。事業計画についても同様に、適正な事業か否かを判断し、財務委員会と連携して次年度予算作成と併せて審議を行う。

・ハラスメント対策について

理事・監事にハラスメントに関する秘密保持誓約書の提出を依頼する予定である。

・システムの開発

2022年度に会員情報の総合システムについて運用の変更に合わせた新機能の追加等更新を合わせて行うような根本からの改修を600,000,000円程度の費用をかけて実施することが決まった。2023年度ではそのシステム改修の設計開発を進めていき、2024年度改修後のシステムの稼働開始の予定である。改修に関しては事務局の担当委員および会員管理システム改修WG、U40/ITFが会員を代表して改修内容を決定する。合わせて広報委員会と連携して、本学会ホームページの更新を進

める。

安全委員会下での活動であった JSAPIMS に関する事業を、総合的に改修計画検討するため理事会下の組織体系とすることとした。

- ・ JSA PIMS について

JSA PIMS の運用・改修、会員への臨床効果データベース提供に関する検討を行う。2022 年度までは安全委員会下での JSA PIMS の運用・改修等の実施という組織体系であったが、組織体系を変更し事務局直下のワーキンググループで検討などを行う。改修に向けての JSA-PIMS のあり方についての検討を計画している。

- ・ U40/ITF(Interactive Task Force)の活動について

学会活動に若手会員の意見や知恵を取り組む仕組みを作ることを目的に、若手会員のグループを作成し、とくに専門医取得に関する情報の把握と若手会員への周知方法などについて検討し、各委員会に具体的な提案を行う。前述の会員管理システム改修事業の検討も行う。

5) 利益相反委員会 (担当理事：山浦理事)

利益相反委員会は、学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる利益相反について検討する。学会や会務に関わる会員および、非会員に利益相反が生じた場合、その処分を含む対応について検討する。

6) ダイバーシティ推進室 (担当理事：高雄理事)

会務対応や実務経験等に様々な人材を登用し、将来的な役員構成において多様性をもたせるための活動を行う。

今後も一定割合の女性登用目標設定のために、日本麻酔科学会学術集会の全国ならびに支部学術集会での講演者（一般演題以外）、座長、サテライトメンバー、委員会メンバーにおける現在の女性の比率を調査する。

7) その他

- ・ 登録・派遣

日本学術会議、日本医師会、日本医学会、厚生労働省医道審議会標榜医審査会、日本専門医機構、大学評価・学位授与機構、外科系医学会社会保険委員会連合、外科関連学会協議会、日本救急医療財団、日本蘇生協議会、3 学会合同呼吸療法士認定委員会、医療機能評価機構、日本骨髄バンク、日本臓器移植ネットワーク、全国 MC 協議会、全国医療安全共同行動、日本歯科麻酔学会、禁煙学術ネットワーク、WFSA、AARS 等に委員を派遣し、各々の目的と事業に合わせ連携・協力予定。

- ・ 各種学術集会協賛・後援

関連協力団体の学術集会および講習会、市民公開講座等を協賛・後援予定。

4. 2023年度委員会委員等一覧

事務局 担当常務理事：萬 知子

事務局 長：萬 知子

副事務局 長：磯野 史朗 杉田 道子

事務局：内田 寛治 大瀧 千代 小澤 章子 讃岐 美智義 澤 智博

田村 岳士 長瀬 清 藤野 裕士

オブザーバー：足立 健彦 上村 裕一 白石 義人 多田 恵一

神戸事務局

東京事務所

<ハラスメント対策室>

室 長：高雄由美子

委 員：濱田 宏

オブザーバー：顧問弁護士

<ダイバーシティ推進室>

推進室 長：高雄由美子

副室 長：木下 真弓

室 員：近江 禎子 大瀧 千代 川股 知之 藤野 裕士 増田 美奈

森 隆 萬 知子

◆ U40/ITF(Interactive Task Force)

W G 長：田村 岳士

副 W G 長：出野 智史 武田 親宗

メンバー：石原 大雅 宇賀田 圭 衛藤 由佳 川久保 弥知

河野 裕美 佐藤 威仁 佐藤 恒久 遠山 光

水野 彰人 山田 康貴 山本 知裕

オブザーバー：杉田 道子 萬 知子 磯野 史朗

◆ JSA-PIMS ワーキンググループ

W G 長：澤 智博

副 W G 長：磯野 史朗

メンバー：石原 大雅 宇賀田 圭 内田 寛治 内田篤治郎 岡本 浩嗣

奥田 泰久 小澤 章子 川股 知之 北川 裕利 蔵谷 紀文

坂口 嘉郎 佐藤 威仁 讃岐美智義 鈴木 昭広 鈴木 康之

武田 親宗 田中 克哉 富岡 俊也 長瀬 清 中塚 秀輝

藤村 直幸 増井 健一 松本美志也 水野 彰人 山田 康貴

山本 知裕

◆ 会員管理システム改修ワーキンググループ

W G 長：萬 知子

メンバー：磯野 史朗 讃岐美智義 澤 智博 田村 岳士

<常置委員会>

総務委員会 担当常務理事：内野 博之

委員長：内野 博之

副委員長：荒川 穰二

委員：内田 寛治 梅垣 修 川口 昌彦 北川 裕利 宮津 光範

オブザーバー：齋藤 繁

<社会保険部会>

部長：内田 寛治

部員：天谷 文昌 荒川 穰二 桑内 亜紀 鈴木 康之

塚田さよみ 宮津 光範 山本 俊介

オブザーバー：藤野 裕士

<会則検討部会>

部長：北川 裕利

部員：大江 克憲 川越 いづみ 小森 万希子 鈴木 武志 松本美志也

オブザーバー：西脇 公俊

財務委員会 担当常務理事：松本美志也

委員長：松本美志也

副委員長：寺嶋 克幸

委員：小板橋俊哉 長瀬 清

オブザーバー：山田 高成

倫理委員会 担当常務理事：萬 知子

委員長：山浦 健

副委員長：中島 芳樹

委員：田口奈津子 伊藤 伸子

オブザーバー：恒吉 勇男

学術委員会 担当常務理事：川股 知之

委員長：川股 知之

副委員長：新山 幸俊 原 哲也

委員：天谷 文昌 江木 盛時 小田 裕 鈴木 昭広 関 博志

中塚 秀輝 松田 祐典

[第70回学術集会実行委員会]

委員長：藤野 裕士

副委員長：松本美志也

委員：内田 寛治 江木 盛時 大瀧 千代 蔵谷 紀文 坂口 嘉郎

田中 克哉 恒吉 勇男 森 隆 山内 正憲 山浦 健

◆ 循環 WG

W G 長：田中 克哉

メンバー：入嵩西 毅 加藤 純悟 辛島 裕士 小嶋亜希子 下川 亮
横塚 基

◆ 呼吸 WG

W G 長：内田 寛治

メンバー：北村 祐司 倉橋 清泰 高木 俊介 中山 禎人 馬場 靖子
吉田 健史

◆ 神経 WG

W G 長：森 隆

メンバー：紙谷 義孝 榎方 哲也 合谷木 徹 田辺久美子 荻野 祐一

◆ 小児・産科 WG

小児 WG 長：蔵谷 紀文

産科 WG 長：大瀧 千代

メンバー：安藤 一雄 小原崇一郎 角倉 弘行 田辺瀬良美 名和由布子

◆ ペイン緩和・局所麻酔 WG

W G 長：山内 正憲

メンバー：柴田 康之 須藤 貴史 佐藤 仁昭 新山 幸俊 間宮 敬子

◆ 救急・ICU WG

W G 長：江木 盛時

メンバー：内山 昭則 大藤 純 鈴木 武志 徳平 夏子 中根 正樹
升田 好樹

◆ 麻酔科関連－1 WG

W G 長：山浦 健

メンバー：石川 真士 大田 典之 小原 伸樹 高橋 完 堤 保夫

◆ 麻酔科関連－2 WG

W G 長：恒吉 勇男

メンバー：小田 裕 北野 敬明 高澤 知規 長谷川麻衣子 堀田 訓久

◆ 麻酔全般 WG

W G 長：坂口 嘉郎

メンバー：大槻 明広 佐和 貞治 鈴木 健二 高橋 伸二 谷 真規子
長瀬 清 原 哲也

[第 71 回学術集会実行委員会]

委員 長：松本美志也

副委員 長：小板橋俊哉

委員：内田 寛治 加藤 里絵 榎方 哲也 鈴木 康之 祖父江和哉
高澤 知規 田中 克哉 堤 保夫 長瀬 清 新山 幸俊

◆ 循環 WG

W G 長：田中 克哉

メンバー：秋吉浩三郎 辛島 裕士 北川 裕利 下川 亮 平田 直之

横塚 基

◆呼吸 WG

WG 長：内田 寛治

メンバー：北村 祐司 金 史信 高木 俊介 馬場 靖子 吉田 健史

◆神経 WG

WG 長：櫛方 哲也

メンバー：荻野 祐一 神里 興太 紙谷 義孝 合谷木 徹 森 隆
山下 敦生

◆小児・産科 WG

小児 WG 長：鈴木 康之

産科 WG 長：加藤 里絵

メンバー：安藤 一雄 小原崇一郎 杉田 道子 田辺瀬良美 名和由布子
松田 祐典 宮津 光範

◆ペイン緩和・局所麻酔 WG

WG 長：新山 幸俊

メンバー：須藤 貴史 住谷 昌彦 原田 英宜 山内 正憲

◆救急・ICU WG

WG 長：祖父江和哉

メンバー：青木 善孝 宇賀田 圭 江木 盛時 大藤 純 徳平 夏子
中根 正樹

◆麻酔科関連－1 WG

WG 長：堤 保夫

メンバー：伊藤 健二 枝長 充隆 大田 典之 鈴木 孝浩 高橋 完
東みどり子

◆麻酔科関連－2 WG

WG 長：高澤 知規

メンバー：井上 聡己 小田 裕 関 博志 恒吉 勇男 長谷川麻衣子

◆麻酔全般 WG

WG 長：長瀬 清

メンバー：大槻 明広 黒澤 温 坂口 嘉郎 谷 真規子 原 哲也
山田 高成

[麻酔科学用語専門部会]

部会長：新山 幸俊

部会員：枝長 充隆 岡本 浩嗣 小竹 良文 志馬 伸朗 角倉 弘行
遠山 悟史 増井 健一 益田 律子

[機関誌専門部会]

部会長：原 哲也

部会員：天谷 文昌 磯野 史朗 市瀬 史 小田 裕 垣花 学
川口 昌彦 鈴木 武志 照井 克生 新山 幸俊 東みどり子

オブザーバー：内田篤治郎

[Journal of Anesthesia Editorial Board]

Editor-in-Chief : 天谷 文昌

Associate Editor-in-Chief : 浅井 隆

Section Editor : 青山 和由 (Pediatric Anesthesia)

浅井 隆 (Airway)

内田 寛治 (Respiratory Medicine)

江木 盛時 (ICU & Emergency Medicine)

小田 裕 (Clinical Reports)

小原 伸樹 (Clinical Monitoring)

河野 崇 (Clinical Pharmacology)

櫛方 哲也 (Neuroscience)

末廣 浩一 (Perioperative Assessment and Management)

高澤 知規 (Social Problem, Education and Economics)

田中 聡 (Pain Medicine)

平田 直之 (Cardiovascular Medicine)

堀田 訓久 (Regional Anesthesia)

増井 健一 (Statistics)

松田 祐典 (Obstetric Anesthesia)

Editorial Board : 角倉 弘行

山蔭 道明

[JA Clinical Reports Editorial Board]

Editor-in-Chief : 小田 裕

Section Editor : 青山 和由 浅井 隆 天谷 文昌 磯野 史朗 井上 莊一郎

内田 寛治 江木 盛時 小原 伸樹 垣花 学 川口 昌彦

河野 崇 櫛方 哲也 齋藤 繁 末廣 浩一 角倉 弘行

高澤 知規 照井 克生 橋本 悟 平田 直之 堀田 訓久

増井 健一 松田 祐典 山蔭 道明

〔「麻酔」編集会議〕

委員 : 磯野 史朗 小竹 良文

[International Conference on Anesthesia Patient Safety 2024]

大会長 : 萬 知子

委員長 : 長坂 安子

副委員長 : 江木 盛時

財務担当委員 : 森田 潔 山田 高成

運営担当委員 : 内田 寛治 茶木 友浩 中澤 春政

プログラム担当委員 : 青山 和由 衛藤 由佳 小澤 章子 小原 伸樹 加藤 里絵

小板橋 俊哉 澤 智博 仙頭 佳起 祖父江 和哉 谷 真規子

宮坂 清之 山内 正憲 吉川 裕介

アドバイザー：飯田 宏樹 武田 純三

国際交流委員会 担当常務理事：萬 知子

委員長：長坂 安子

副委員長：川越いづみ

委員：青山 和由 仙頭 佳起 加藤 里絵 尾頭希代子 藤田 信子
山田 高成

関連領域検討委員会 担当常務理事：田中 克哉

委員長：岡本 浩嗣

副委員長：井関 雅子

委員：奥富 俊之 角倉 弘行 中嶋 康文 谷口 巧 西田 修
山口 重樹 水野圭一郎 谷口 由枝

<領域検討部会>

[集中治療]

部会長：西田 修

部会員：内山 昭則 垣花 泰之 黒田 泰弘 志馬 伸朗 松田 直之

[ペイン]

部会長：井関 雅子

部会員：上野 博司 濱口 眞輔 平川奈緒美 渡邊 恵介

[緩和]

部会長：山口 重樹

部会員：天谷 文昌 佐藤 哲観 橋口さおり 松本 禎久

[救急]

部会長：谷口 巧

部会員：黒田 泰弘 志馬 伸朗 成松 英智 鈴木 昭広

外部委員：木村 昭夫 坂本 哲也

[心臓血管麻酔]

部会長：中嶋 康文

部会員：大西 佳彦 川口 昌彦 野村 実 能見 俊浩

[産科麻酔]

部会長：奥富 俊之

部会員：上山 博史 狩谷 伸享 杉田 道子 角倉 弘行 照井 克生
中島 芳樹

[小児麻酔]

部会長：谷口 由枝

部会員：香川 哲郎 川人 伸次 鈴木 康之 岩崎 達生

◆ ECC 講習会支部担当責任者 WG

WG 長：高橋 伸二（東京・関東甲信越）

メンバー：今泉 均（北海道） 伊関 憲（東北） 山崎 潤二（東海北陸）

羽場 政法（関西） 堤 保夫（中国四国） 田代 尊久（九州）

オブザーバー：田勢長一郎 多田 恵一

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考えるワーキンググループ

W G 長：川前 金幸

メンバー：鈴木 昭広 原 哲也 水本 一弘

教育委員会 担当常務理事：田中 克哉

委員長：田中 克哉

副委員長：恒吉 勇男 富岡 俊也

委員：大槻 明広 倉橋 清泰 坂口 嘉郎 佐和 貞治 鈴木 武志

堤 保夫 森 隆

オブザーバー：内野 博之 中塚 秀輝 原 哲也

◆ 専門医研修プログラム検討 WG

W G 長：富岡 俊也

メンバー：大槻 明広 小出 康弘 水本 一弘 山口 重樹

◆ サイトビジット研修プログラム評価制度 WG

W G 長：川口 昌彦

メンバー：垣花 学 坂口 嘉郎 新山 幸俊

◆ CBT WG

W G 長：佐和 貞治

メンバー：江木 盛時 澤村 成史 恒吉 勇男 寺嶋 克幸

オブザーバー：坂口 嘉郎

[専門医試験あり方検討部会]

部会長：田中 克哉

部会員：大槻 明広 川口 昌彦 坂口 嘉郎 佐和 貞治 恒吉 勇男
富岡 俊也

[認定審査委員会]

委員長：田中 克哉

副委員長：倉橋 清泰 鈴木 康之 恒吉 勇男 森 隆

オブザーバー：内野 博之

[第1部会（専門医認定）]

部会長：恒吉 勇男

部会員：櫛方 哲也 倉橋 清泰 坂口 嘉郎 堤 保夫 戸田雄一郎
富岡 俊也

オブザーバー：原 哲也

<筆記試験>

問題作成責任者：新山 幸俊

メンバー：朝元 雅明 井口 直也 石田 裕介 北村 咲子 櫛方 哲也

白水 和宏 鈴木 武志 祖父江和哉 田中 聡 堤 保夫
松木 悠佳 溝田 敏幸
オブザーバー：田中 克哉

<口頭試験>

問題作成責任者：田中 克哉
メンバー：江島 豊 神田 浩嗣 小山 薫 澤田 敦史 鈴木 昭広
橘 一也 谷 真規子 寺嶋 克幸 長坂 安子 平田 直之
藤井 啓介 森 隆 森山 潔
オブザーバー：倉橋 清泰

[第2部会 (指導医認定)]

部 会 長：鈴木 武志
部 会 員：大槻 明広 小出 康弘 多田羅恒雄

[第3部会 (認定医, 認定病院認定)]

部 会 長：森 隆
部 会 員：香取 信之 澤村 成史 祖父江和哉 山浦 健

[第4部会 (研修プログラム認定)]

部 会 長：倉橋 清泰
部 会 員：大槻 明広 加藤 里絵 小山 薫 鈴木 健二 橋口 さおり
オブザーバー：小森万希子 中塚 秀輝

安全委員会 担当常務理事：内野 博之

委 員 長：小澤 章子
副 委 員 長：藤村 直幸 祖父江和哉
委 員：奥田 泰久 枝長 充隆 水本 一弘 西部 伸一 山内 正憲

[偶発症例 (肺塞栓) 専門部会]

部 会 長：垣花 学
部 会 員：北 貴志 枝長 充隆 佐藤 哲文 藤村 直幸 増井 健一

[医薬品適正評価対策専門部会]

部 会 長：祖父江和哉
部 会 員：岩崎 達雄 原 哲也 川越いづみ 美馬 裕之 平木 照之
オブザーバー：山浦 健

[CCP 専門部会]

部 会 長：奥田 泰久
部 会 員：吾妻 俊弘 杉田 道子 西部 伸一 山口 重樹

[麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会]

部 会 長：小澤 章子

部 会 員：佐和 貞治 中島 芳樹 水本 一弘

◆ 医薬品ガイドライン改訂 WG

W G 長：山浦 健

メンバー：垣花 泰之 加藤 里絵 川股 知之 合谷木 徹 坂口 嘉郎
白水 和宏 鈴木 孝浩 田中 克哉 戸田雄一郎 中島 芳樹
原 哲也 山口 重樹

◆ ICD 制度協議会運営 WG

W G 長：稲垣 喜三

メンバー：小澤 章子 白石 義人 田口奈津子 森本 裕二

◆ APSF ニュースレター日本語版作成 WG

W G 長：祖父江和哉

メンバー：飯田 宏樹 川越いづみ 酒井 陽子 澤 智博 仙頭 佳起
田辺久美子 藤本 陽平 安田 篤史 福田 征孝

◆ 周術期禁煙推進 WG

W G 長：飯田 宏樹

メンバー：甲斐 哲也 久利 通興 田辺久美子 中川 雅史 山下 千鶴
米倉 寛

◆ 全身麻酔からの覚醒・抜管を安全に行うためのガイドライン作成 WG

W G 長：磯野 史朗

メンバー：小竹 良文 鈴木 康之 加藤 里絵

◆ 高齢者の麻酔ガイドライン作成 WG

W G 長：川股 知之

メンバー：恵川 淳二 川口 昌彦 河野 崇 立花 俊祐 新山 幸俊
藤井 啓介

◆ 特定行為に関する安全性の検討 WG

W G 長：藤村 直幸

メンバー：小澤 章子 北川 裕利 長坂 安子 中村 京太 横山 健
萬 知子

◆ 小口径コネクターの影響検討 WG

W G 長：斎藤 淳一

メンバー：海法 悠 小嶋 大樹 野口 智子 溝渕 知司

◆ 全身麻酔用医薬品投与制御プログラムの使用指針作成 WG

W G 長：讃岐美智義

メンバー：木山 秀哉 中西 美保 藤村 直幸 小原 伸樹 柴田 康之
外部委員：鎮西 清行

◆ 悪性高熱症管理ガイドライン改訂 WG

W G 長：堤 保夫

メンバー：向田 圭子 市原 靖子 三好 寛二 長坂 浩 安田 季道

◆ 危機的出血への対応ガイドライン改訂 WG

WG 長：香取 信之

メンバー：枝長 充隆 田村 高廣 崎村正太郎 齋藤 淳一

◆ 術前絶飲食ガイドライン改訂 WG

WG 長：祖父江和哉

広報委員会 担当常務理事：萬 知子

委員長：内田篤治郎

副委員長：鈴木 孝浩

委員：香取 信之 川久保弥知 杉田 道子 高雄由美子 高木 俊一
田辺瀬良美 中澤 春政

麻醉博物館委員会 担当常務理事：内野 博之

委員長：上林 卓彦

委員：奥富 俊之 尾前 毅 香河 清和 金子 武彦 澤村 成史
土手健太郎 牧野 洋 美馬 裕之

オブザーバー：松木 明知 齋藤 繁

[麻醉博物館 館員ボード]

館長：齋藤 繁

館員：伊吹 京秀 奥富 俊之 金子 武彦 武田 純三 土手 健太郎
中島 芳樹 牧野 洋 松木 明知

<特別委員会>

【周術期管理チーム委員会】

委員長：松本美志也

委員：川口 昌彦 川股 知之 坂口 嘉郎 鈴木 孝浩 鈴木 武志
平田 直之 廣瀬 宗孝 藤村 直幸

日本手術看護学会：木村 三香 山本 千恵 横田富美子

日本病院薬剤師会：柴田ゆうか 舟越 亮寛

日本臨床工学技士会：荒木 康幸 北本 憲永 小西 康司

日本口腔外科学会：栗田 浩 関谷 秀樹

[周術期管理チーム認定審査委員会]

委員長：松本美志也

副委員長：坂口 嘉郎 鈴木 武志

委員：井上 聡己 大江 克憲 大槻 明広 北野 敬明

日本手術看護学会：木村 三香 横田富美子

日本臨床工学技士会：北本 憲永 佐々木慎理

◆ 周術期管理チーム試験問題作成 WG

W G 長：川股 知之

メンバ ー：飯田 良司 石田 高志 石田 裕介 岡田 雅子 上村 友二
神谷 岳史 北村 咲子 酒井 陽子 柴崎 雅志 杉山 大介
鈴木 昭広 瀬戸口秀一 高田 真二 谷奥 匡 遠山 悟史
藤本 昌史 松浦 正 簗島 梨恵 安田 篤史 矢田部智昭

日本手術看護学会：岡崎 政秀 野瀬 珠美

日本臨床工学技士会：荒木 康幸 内山明日香

◆ 周術期管理チームテキスト作成 WG

W G 長：鈴木 孝浩

メンバ ー：河野 達郎 佐藤 暢一 恒吉 勇男 道宗 明 中澤 春政

日本手術看護学会：山口 円

日本病院薬剤師会：柴田ゆうか

日本臨床工学技士会：藤田 智一

◆ 周術期管理チームセミナーWG

W G 長：坂口 嘉郎

メンバ ー：小原 伸樹 鎌田ことえ 川瀬 宏和 鈴木 聡 関 博志
田村 岳士 内藤 祐介 長坂 安子 長瀬 清 原 将人

術後疼痛管理研修作業部門

部 門 長：川股 知之

部 門 員：坂口 嘉郎 ハシチウオヴィッチ トマシュ

オブザーバー：松本美志也

【特定行為研修管理委員会】

委 員 長：廣瀬 宗孝

委 員 員：大瀧 千代 川越いづみ 川真田樹人 北川 裕利 佐藤 暢一
戸部 賢 内藤 祐介 長坂 安子 藤村 直幸 松永 明

日本手術看護学会：ミルズしげ子

外 部 委 員 員：鈴木敬一郎 山口 円

[特定行為研修審査委員会]

委 員 長：廣瀬 宗孝

副 委 員 長：北川 裕利 内藤 祐介

委 員 員：秋吉浩三郎 長坂 安子 藤村 直幸 松永 明

外 部 委 員 員：山口 円

【利益相反委員会】

委 員 長：山浦 健

委 員 員：北川 裕利 小森万希子 森本 裕二

オブザーバー：恒吉 勇男 顧問弁護士

【支部委員会】

委員：新山 幸俊 岡本 浩嗣 内田篤治郎 中島 芳樹 上林 卓彦
田中 克哉 原 哲也

【支部運営委員会】

(北海道・東北支部)

支 部 長：新山 幸俊
総 務 委 員：山内 正憲
学 術 委 員：井上 聡己 枝長 充隆 黒澤 伸 鈴木 健二 中根 正樹
森本 裕二
教 育 委 員：神田 浩嗣 榎方 哲也 山蔭 道明 横山 健
広 報 委 員：斉藤 仁志 下田 栄彦 外山 裕章

(東京支部)

支 部 長：内田篤治郎
総 務 委 員：小森万希子 萬 知子
学 術 委 員：井関 雅子 小竹 良文 鈴木 孝浩 山田 高成
教 育 委 員：内田 寛治 内野 博之 大江 克憲 香取 信之 武田 吉正
広 報 委 員：川越いづみ 澤村 成史 長坂 安子

(関東・甲信越支部)

支 部 長：岡本 浩嗣
総 務 委 員：川真田樹人 木下 真弓 後藤 隆久
学 術 委 員：磯野 史朗 井上莊一郎 奥田 泰久 小山 薫 馬場 洋
教 育 委 員：北村 晶 小坂橋俊哉 齋藤 繁 竹内 護
広 報 委 員：北村 享之 山口 重樹

(東海・北陸支部)

支 部 長：中島 芳樹
総 務 委 員：小澤 章子 祖父江和哉 西脇 公俊
学 術 委 員：高橋 完 藤田 義人
教 育 委 員：賀来 隆治 高田 基志 西田 修
広 報 委 員：重見 研司 高橋 麗子 谷口 巧

(関西支部)

支 部 長：上林 卓彦
学 術 委 員：佐和 貞治 廣瀬 宗孝 藤野 裕士
教 育 委 員：川股 知之
広 報 委 員：北川 裕利
委 員：足立 健彦 上山 博史 江木 盛時 小幡 典彦 川口 昌彦
中嶋 康文 南 敏明 美馬 裕之 森 隆

(中国・四国支部)

支 部 長：田中 克哉
総務委員：松本美志也
学術委員：大槻 明広 河野 崇 堤 保夫
教育委員：中條 浩介 中塚 秀輝 二階 哲朗
広報委員：森松 博史 萬家 俊博
委員：奥 格 多田 文彦 田中 裕之 日高 秀邦

(九州支部)

支 部 長：原 哲也
総務委員：坂口 嘉郎 恒吉 勇男 山浦 健
学術委員：秋吉浩三郎 平木 照之 平田 直之
教育委員：垣花 学 北野 敬明 堀下 貴文 松永 明
広報委員：泉 薫 杉田 道子 藤村 直幸 増田 美奈

5. 2023年度関連諸団体委員等一覧

【日本医師会】

疑義解釈委員会：齋藤 繁

【日本医学会】

評 議 員：山蔭 道明

連絡委員：萬 知子

医学用語連絡委員：岡本 浩嗣

代 委 員：小竹 良文

利益相反委員：萬 知子

「日本医学会創立 120 周年記念事業」連絡担当：小森万希子
第 31 回日本医学会総会学術委員会 U40 メンバー：廣瀬 佳代

【厚生労働省医道審議会標榜医審査会】

部 長 代 理：溝渕 知司

委 員：川越いづみ 廣田 和美 小森万希子 中塚 秀輝 木下 真弓
近江 禎子

【日本専門医機構麻酔科領域専門医委員会】

委 員：坂口 嘉郎

【日本専門医機構麻酔科領域研修委員会】

委 員：坂口 嘉郎

【外科関連学会協議会】

委 員：落合 亮一 齋藤 繁 森崎 浩

懇 談 会：佐藤 哲文 鈴木 宏昌 竹内 護

【外科系医学会社会保険委員会連合】

処 置 委 員 会 委 員：寺嶋 克幸
処置委員会（処置コーディネート WG）：澤 智博
検 査 委 員 会 委 員：久利 通興
検査委員会（生体検査 医療材料 WG）：久利 通興
手 術 委 員 会 委 員：横田 美幸
実務委員会委員・手術委員会委員：横田 美幸
手術委員会（コーディネート WG）：澤 智博
手術委員会（医療材料・医療機器 WG）：岩瀬 良範
麻 酔 委 員 会 委 員 長：山田 芳嗣
麻 酔 委 員 会 副 委 員 長：横田 美幸
麻 酔 委 員 会 委 員：森崎 浩 岩瀬 良範
麻酔委員会（全身麻酔 WG）：横田 美幸 森崎 浩 岩瀬 良範
麻酔委員会（麻酔深鎮静 WG）：横田 美幸 森崎 浩 天谷 文昌
総 務 委 員 会 委 員：山田 芳嗣

【日本外科系連合学会】

総 務 委 員：鈴木 宏昌

【日本救急医療財団】

心 肺 蘇 生 法 委 員 会 委 員：多田 恵一
非医療従事者によるAED使用のあり方特別委員会委員：多田 恵一

【日本蘇生協議会】

理 事：小澤 章子
監 事：多田 恵一

【3学会合同呼吸療法士認定委員会】

派 遣 委 員：川前 金幸 中澤 弘一 山田 芳嗣

【日本歯科麻酔学会】

監 事：小坂橋俊哉

【全国MC協議会連絡会世話人会】

世 話 人：多田 恵一

【医療安全全国共同行動】

委 員：垣花 学

【禁煙推進学術ネットワーク】

委員：飯田 宏樹

【日本医療安全調査機構】

委員：山内 正憲

北海道・東北ブロック：山内 正憲

関東ブロック：岡本 浩嗣

東京ブロック：内田篤治郎

東海北陸ブロック：祖父江和哉

近畿ブロック：溝渕 知司

中国四国ブロック：松本美志也

九州ブロック：坂口 嘉郎

【ICD制度協議会】

委員：白石 義人

【医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会】

委員：白石 義人

【ISO/TC121 国内委員会】

委員：山内 正憲 長坂 安子 山本 俊介

【JIS 原案作成委員会委員】

委員：森松 博史

【人工臓器治療関連学会協議会】

委員：藤野 裕士

【臓器移植関連学会協議会】

委員：森松 博史

【緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会】

委員：齊藤 洋司

【日本母体救命システム普及協議会】

理事：大瀧 千代 奥田 泰久 山内 正憲

【無痛分娩関係学会・団体連絡協議会】

委員：奥田 泰久 水野圭一郎 山内 正憲

有害事象分科会：奥富 俊之 山内 正憲

研修体制分科会：大瀧 千代 奥田 泰久 角倉 弘行

情報公開分科会：川真田樹人 水野圭一郎

【一般社団法人 臨床試験医師養成協議会】

理事：山蔭 道明

【World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)】

○Council

Executive Committee：齋藤 繁

Obstetric Anaesthesia Committee：角倉 弘行

Paediatric Anaesthesia Committee：蔵谷 紀文

Publication Committee：山蔭 道明

Pain Management Committee：天谷 文昌

Diversity, Equity, and Inclusion Committee：田辺 瀬良美

【Asian and Australasian Regional Section (AARS)】

Treasurer：山蔭 道明

【厚生労働省 歯科医師の医科麻酔科研修に関する検討会】

委員：内野 博之

委員：萬 知子

オブザーバー：山蔭 道明

以上